



あらたま 荒玉 賢佑 誠友会 (65分)

**デジタル化の推進は**

**問** 積極的な技術の導入は。

**答** 9月頃を目途に西公民館と幕山公民館において、公民館等利用時に鍵の受け渡しのための事前の来館を不要とするスマートロックの実証実験を行う。

今後もデジタル技術を活用した先進事例や新たな技術の調査、研



こぼたけ 小島 崇弘 誠友会 (65分)

**日常生活用具費支給事業は**

**問** 人・内耳装用者への支援は。

**答** 電池などの購入費用の支援は、まず当事者団体などを通じて実態の把握をしていきたい。

**福川の排水機場の新設は**

**問** 工事の進捗は。

究を行い、デジタル化に向けた積極的な取り組みを進める。

**新型コロナウイルスワクチン接種は**

**問** 今後のスケジュールは。

**答** 7月中に高齢者の接種を終了する予定である。これと並行して一般の方への接種を開始する。医師会をはじめとする関係機関と一丸となり、円滑な接種と加速化に全力を尽くす。9月末には集団としての免疫が期待できる接種率70%の達成をめざす。

**問** 現在、県は瀬戸川への吐き出し口の工事を行っており、今年度、吐き出しゲートの設置や排水機場内の水槽の工事にも着手すると聞いている。抜本的な浸水対策は、引き続き県と市が連携して2023年度の完成をめざす。

**放課後児童クラブ事業は**

**問** 開設時間の延長は。

**答** 人材の確保や施設の整備を行う中で、土曜日の開設時間の延長などに取り組んできた。引き続きニーズに沿った運営を検討する。



たぐち 田口 裕司 誠友会 (65分)

**人・農地プランは**

**問** 人口減少が続く市街化区域以外の地域の今後の在り方を考える中で、農業振興による農地の活用が周辺地域の魅力創出にもつながり、有害鳥獣対策や空き家対策、地域の過疎化などさまざまな課題の解決になると考えるが、課題と今後の取り組み

は、



ほうまき 法木 昭一 市民連合 (75分)

**非常時に対応できる医療提供体制の確保を**

**問** コロナ禍における医療提供体制が全国的に十分でないことは明らかである。県の保健医療計画でも福山・府中圏域の病床数を減じる考え方が示されている。コロナ禍を経験する中で病床数および医師、看護師など

の医療従事者の体制の拡充が求められるのでは。

みは。

**答** 人・農地プランは、対象地域で中心となる営農者を定め、将来効率的な農地利用ができるよう農地の集積・集約化に向け計画を作成するものであるが、合意形成や具体化が進んでいない。農地集積等のメリットや、将来的なイメージがつかみにくいことが課題と考えている。

今後は、さまざまな手法による農地の集積等に向け、農林水産振興ビジョンを策定する中で総合的に検討する。

**答** 5月28日に公布された「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」の中で、新たに国の医療計画に「新興感染症等の感染拡大時における医療」を位置付ける方針が示され県においても次期医療計画策定に向け検討が進むと考えている。

本市も医療従事者の確保に努め国や県の動向を注視し、感染拡大時の病床確保に取り組む。